

兵庫労働局： 『外国人雇用状況(令和6年10月末)』を公表

25.01.31

「外国人雇用状況」の届出状況まとめ
(令和6年10月末時点)

～外国人労働者数は66,165人。過去最高を更新。～

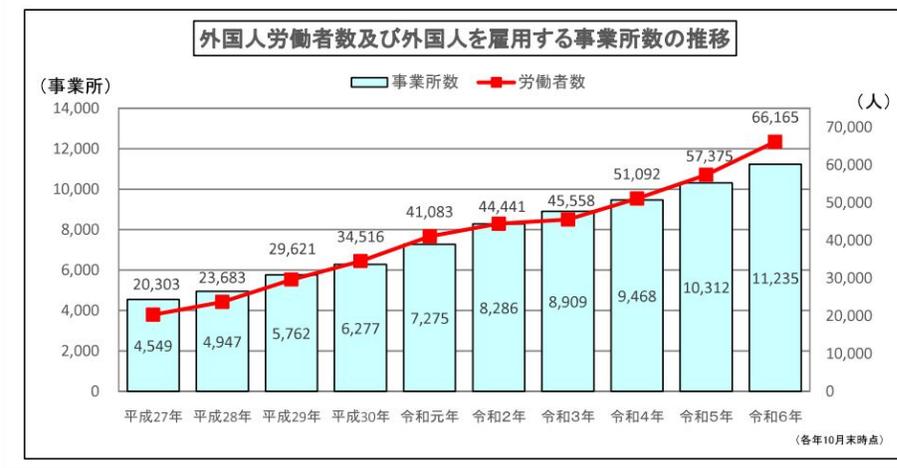
兵庫労働局はこのほど、令和6年10月末時点の外国人雇用についての届出状況を取りまとめましたので、公表します。

外国人雇用状況の届出制度は、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律に基づき、外国人労働者の雇用管理の改善や再就職支援などを目的とし、すべての事業主に、外国人の雇入れ・離職時に、氏名、在留資格、在留期間などを確認し、厚生労働大臣（ハローワーク）へ届け出ることを義務付けています。

届出の対象は、事業主に雇用される外国人労働者（特別永住者、在留資格「外交」・「公用」の者を除く。）であり、数値は令和6年10月末時点で事業主から提出のあった届出件数を集計したものです。

【ポイント】

- 外国人労働者数は66,165人（前年同期比8,790人、15.3%増加）
- 外国人労働者を雇用している事業所数11,235事業所（前年同期比923事業所、9.0%増加）



姫路・山根鉄工所：未経験の外国人を 正社員採用－育成事例を公開

25.03.29

兵庫県姫路市にある創業半世紀以上の山根鉄工所。社員数11人のアットホームな会社です。近年は製造業に対するネガティブな3K「きつい」「汚い」「危険」のイメージもあり、従業員募集をしても応募すら来ないという状態が続いていました。

そんなときに出会った「外国人採用」。「補佐的な役割の人でもいいから来てくれれば...」との気持ちで臨んだ外国人採用で、想像以上の反響を得て優秀な人材の獲得に成功しました。



 YOLO JAPAN

製造業の外国人採用と育成事例 | 未経験...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000249.000015950.html>

兵庫県×神戸市：『留学生向け合同企業説明会』 開催を告知

25.05.09

就職活動中の外国人留学生を対象に、
神戸サンボホールでの大規模合説を共同開催。
出展予定は74社で、県内企業と留学生のマッチングを推進。
参加対象は大学・短大・専修・日本語学校の在籍・既卒者。
事前登録サイトを通じて申込を受け付ける。
情報発信力・集客力の向上を狙い、
県内就職の後押しと定着促進につなげる。
開催日時や会場アクセス等の詳細も明記された。



 Instagram

 6/25 (水) に関...

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr06/press/20250509.html>

兵庫県：『ひょうご外国人雇用企業認定制度』 運營業務の企画提案を公募

25.05.23

兵庫県は外国人が安心して就職・定着できる環境づくりを目的に、企業の取組をチェックリストで見える化する認定制度の運營業務を民間コンペで募集すると発表。

評価・広報・申請受付などを包括委託し、企業の適正な受入れと共生の質を底上げする狙い。

実施要領・仕様書・問い合わせ先を記者発表で提示し、公平性と透明性を確保した運営を重視。

県内企業の採用・定着の好循環をめざす施策である。



兵庫県

兵庫県／ひょうご障...

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr06/press/20250515.html>

神防社：留学生向け合同説明会に出展、 外国人採用の取組を紹介

【6月25日(水)】神防社、留学生向け企業説明会に出展～外国人採用を加速～

外多国籍社員が職場を活性化、好循環を生む“共育”環境で防災現場に新風を

株式会社神防社

防災設備の設計施工を手掛ける株式会社神防社(こうぼうしゃ 所在地:兵庫県、代表取締役社長:辻真一)が6/25(水)に神戸サンボーホールで行われる「留学生向け合同説明会」に出展します。



PR TIMES

6月25日(水)】神防社、留学生向け企業説...

創業63年で初の挑戦！特定技能外国人 ドライバー第1期生が入社

広島県を拠点に食品物流サービスを展開する株式会社河野（本社：広島県広島市、代表取締役：河野幹章）は、2025年11月6日（木）に、創業63年の歴史で初となる「特定技能1号（自動車運送業）」の在留資格を取得した中国人ドライバーの入社オリエンテーションを、兵庫県尼崎営業所にて実施しました。当日は報道関係者をはじめ、登録支援機構の担当者、社員など15名が参加しました。当社では既にラオス人技能実習生が活躍しており、国籍を超えたチームワークの効果を実感しています。今回、登録支援機関の協力を得て、この新制度をいち早く活用することで、持続可能な人材確保と、多様な人材が活躍できる職場環境の構築を目指します。

2025.11.06

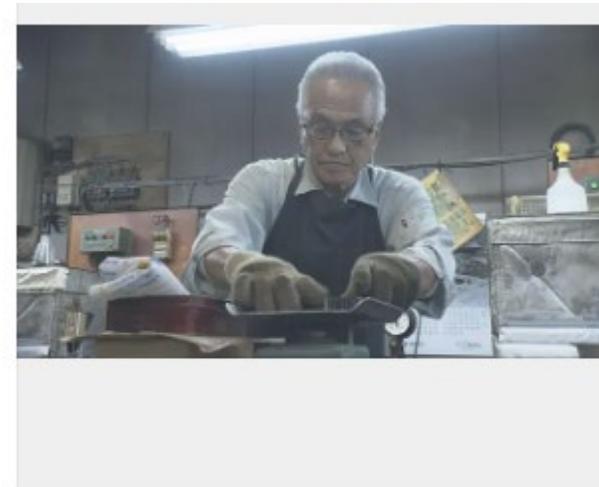


出典：https://www.kobe-np.co.jp/info/prtimes/202511/c165930_r8.shtml

地域経済を支える神戸の「ものづくり」 人材育成と支援で未来を切り拓く

2025.12.16

神戸市兵庫区にある「神戸市ものづくり工場」
阪神淡路大震災で被災した町工場の復興を目的に
「復興工場」として1998年に建設されました。
現在、約100社が入居する国内最大規模の中小製
造業向け賃貸工場です。この工場に震災後入居し
、50年近くゴム製品を製造してきたこの会社は
、2026年に事業を家族に引き継ぐ予定です。
地域経済を支える中小製造業。
しかし、後継者不足や海外製品との競争など、課
題は山積しています。



人材育成が課題と話す栗山さん

Zenken、兵庫県で外国人介護人材向け 無料オンライン研修を開催

2025.12.01

Zenken株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：林 順之亮、以下「Zenken」）は、兵庫県で働く外国人介護人材の定着とキャリアアップを支援する無料オンライン研修を実施します。

本研修は、兵庫県が推進する「外国人介護人材に対する介護技術等研修補助金事業」を活用し、Zenkenが主体となって提供します。2025年12月18日(木)からは介護福祉士国家試験の直前対策講座を、2026年2月からは介護業務に関わる研修を順次実施します。

これらの研修は、外国人向け介護教育で豊富な実績を持つ日本福祉教育専門学校（日本介護研修センター）と連携し、外国人介護人材のキャリア形成に必要な知識・技術の習得を包括的に支援します。Zenkenは本研修を通じ、兵庫県内の外国人介護人材が安心して地域で長く活躍できる環境づくりに貢献します。

地域住民と外国人入居者の交流を深める 催しに約200人来場

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、兵庫県三木市にある「ビレッジハウス志染」で、地域住民や入居者を対象に、外国人入居者との相互理解と交流を深めることを目的とした「ビレフェスin 志染」を2025年10月18日（土）に開催しました。ビレッジハウスは2019年からコミュニティイベントや防災イベントを全国各地で開催しており、兵庫県三木市では初の実施です。ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、兵庫県三木市にある「ビレッジハウス志染」で、地域住民や入居者を対象に、外国人入居者との相互理解と交流を深めることを目的とした「ビレフェスin 志染」を2025年10月18日（土）に開催しました。ビレッジハウスは2019年からコミュニティイベントや防災イベントを全国各地で開催しており、兵庫県三木市では初の実施です。

2025.10.23



「餅つき大会」の様子



「ビレフェスin志染」会場の様子



世界各国のフードメニュー



アジアビールなど

小さな旅選

「島の絆 つむいで～兵庫県 坊勢島（ぼうぜじま）～」



2025.10.01

兵庫県姫路市の沖、播磨灘に浮かぶ坊勢島（ぼうぜじま）は2000人ほどが暮らす漁業の島。島の人たちは同級生の中でも特に強く結びついた相手を“兄弟分”と呼び、船の進水式から冠婚葬祭まで支えあって暮らしてきた。還暦を迎えても兄弟分との絆を励みに仕事を続ける漁師。

インドネシアからの技能実習生にも広がる助けあいの輪。そんな関係に心ひかれ移住してきた夫婦。人とのつながりを大切に生きる坊勢島の人たちに出会う旅。

不法就労助長疑い、会社社長の女ら2人逮捕 ベトナム人の男も不法残留疑いで

2025.09.19

2025年9月、兵庫県朝来市にて、在留期限が切れたベトナム人男性を不法に就労させたとして、会社の女性社長ら2人が入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで逮捕された。また、同容疑でベトナム国籍の男も不法残留の疑いで逮捕されている。報道によると、逮捕されたのは朝来市内の会社の46歳の女性社長と28歳の女性社員で、容疑を否認している。不法残留の疑いで逮捕された28歳のベトナム国籍の男は容疑を認めている。社長らは、在留期限が切れたベトナム人男性2人を自社で雇用した疑いが持たれており、この件は2025年6月に同社で働くベトナム人2人が不法残留容疑で逮捕されたことから発覚した。不法残留の疑いで逮捕されたベトナム人の男は、2024年5月に在留期限が切れた後も2025年9月まで不法に滞在していた。不法就労助長罪は罰則が重く、「5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金、または併科」が科され、初犯でも実刑判決を受ける可能性がある。

出典：https://www.ngj.jp/press_detail.php?article_id=3042

神戸・三宮でスナック経営の女逮捕 特定技能の中国人女性に不法就労させた疑い

2025.12.09

神戸・三宮のスナックで許可を得ずに外国人女性を働かせたとして、兵庫県警生田署は9日、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで、神戸市兵庫区に住むスナック経営の女（41）を逮捕した。署の調べに対して「ホステスとして働かせたこと間違いない」と容疑を認めているという。逮捕容疑は2024年12月23日～25年10月29日、中央区加納町4のスナックで、資格外活動の許可を得ていない30代の中国人女性1人を働かせた疑い。署によると、風営法に基づく立ち入り検査で、介護の特定技能で在留資格を得た女性が働いている疑いを把握した。署の調べに、女は「雇う際に身分証を確認しなかった」という趣旨の説明をしているという。



YouTube

神戸三宮のガールズバーで違法営業の...

参院選で争点だった外国人政策 中華街もある兵庫の外国人らの思いは

2025.08.01

「日本人ファースト」を掲げ、外国人の規制強化や権利の制限を主張する参政党が躍進した参院選。各党が演説や討論番組などで外国人政策を取り上げ、争点の一つとなった。SNS上などでは「外国人への生活保護が優遇されている」など誤った情報も広がった。どんな思いで選挙を見ていたのか、兵庫県内の外国人や外国にルーツを持つ人に話を聞いた。

「これから日本で暮らしていけるのか、考えてしまった」。3年前にミャンマーから来日した20代女性はこう話した。尼崎市の介護施設で職員として働く。「『国に帰れ』と言われたら帰るしかない。でも、帰っても生活は苦しいし、命の危険もある」。母国は軍事クーデターと大地震で、混乱の中にある。



観光客らでにぎわう神戸・南京町。外国人の姿も多く、さまざまな国の言葉が飛び交う=2025年7月29日午後0時30分、神戸市中央区、宮坂奈津撮影 